

《共通科目》

授業科目名	研究 方法 A-I (量的研究方法の基礎) <i>Research Methods A- I</i>		担当教員	姫野 稔子	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15(1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	看護・保健領域での研究において使用されている量的研究方法に特化して、統計分析の基礎を習得する。				
到達目標	1. 学術論文で用いられているデータ解析手法を基礎概念に即して理解できる 2. データの性質に応じて適切な統計手法を選択し、分析し、その結果を解釈できる				
授業計画	1回目：統計学の基礎知識① ・基本的な用語とデータ ・記述統計と推測統計 2回目：統計学の基礎知識② ・1変数の記述統計 ・2変数の記述統計(質的データと量的データ) 3回目：推測統計の基本的な考え方 ・統計学における確率論 ・統計の正しい利用と解釈 ・正規母集団の標本分布 4回目：推測統計 推定 5回目：推測統計 検定① ・ χ^2 検定 ・回帰と相関 6回目：推測統計 検定② ・関連2群の差の検定・独立2群の差の検定 7回目：推測統計 検定③ ・関連多群の差の検定・独立多群の差の検定 8回目：多変量解析の基本 ・重回帰分析				
学習方法	・本科目は量的研究をするための基礎的な知識を養うことを目的としています。効果的に進めていくために、2回目以降の講義に関しては、授業計画に関するテキストの該当部分(毎回指定します)を熟読したうえで参加してください。 ・講義ごとに理解度を確認するための小テストを行います。繰り返し取り組めるよう、Web上にアップしていますので、活用してください。				
オフィスアワー	以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。 姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp				
テキスト	大木秀一：基本からわかる看護統計学入門。東京，医歯薬出版株式会社，2016.				
参考文献	中山和弘：看護学のための多変量解析入門。東京，医学書院，2018. Stephen B. Hulley, et. al.; 木原雅子他訳：医学的研究のデザイン第4版。東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2014. 市原清志：バイオサイエンスの統計学。東京，南江堂，1990.				
評価方法	試験(80%)、授業参加度(20%)				